

【第4回】文脈に即して訳す

文脈に即して訳す

Last week / the Senate held a hearing <on the possibility of creating a national **system of biometric measurement** (- using the body to uniquely identify individuals -) to help in the fight against terrorism > .

POINT 長いセンテンス：いくつかに分けて訳す or 1文として訳す

原文の流れを生かしながら、センテンスをいくつかに分けて訳すか原文の係り関係を崩さないように、1つのセンテンスとして訳すか考えます。



文脈に即して訳す

POINT 強調構文と形式主語構文

(1) 強調構文

It is { 名詞 ~ that 不完全文 ..., 「…のは～である」
副詞 ~ that 完全文….

It is not what you say but how you say it **that** counts.
(重要なのは何を言うかでなくどのように言うかだ)

It is this book **that** I have long wanted to read.
(私が長い間読みたいと思っているのはこの本です)

It was because of the heavy rain **that** the river overflowed.



文脈に即して訳す

POINT 省略

よく使われる省略パターンは大きく分けて2つあります。

(1) 主語+be動詞の省略

We blink more if upset. (狼狽すると瞬きは多くなる)
→ We blink more if (**we are**) upset.

(2) 同一語句の反復を避ける省略

